

記者発表（配布）資料

令和5年11月20日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市農林水産部 水産課	白神 敦司	日笠 正昭	梶本 学	0838-25-4195

件名	【日程変更】 魚の旨味と売上を上げるための血抜き・活締め講習会（最終回） の開催について
----	---

11月15日に記者発表いたしました標記の件について、以下のとおり日程変更となりましたので、お知らせいたします。

	変更前	変更後
日時	11月22日（水） 午前10時～午後1時	<u>11月23日（木・祝）</u> 午前10時～午後1時

※開催場所、内容等の変更はありません。

日程変更後

○魚の旨味と売上を上げるための血抜き・活締め講習会（最終回）の開催について

漁業者の所得向上を目指し、魚価向上・高値安定並びに販路拡大を図るため、船上などでの血抜きや活締め処理など、魚の鮮度保持技術の取得を目指した3回目の講習会を外部専門家の指導・助言を受け、下記のとおり行います。

なお、今年度の最後となる今回の講習会では、これまでの鮮度保持の知識や技術などの振り返りに加え、活締め処理取得者の認定審査や、認定された方が使用できる出荷用ラベルについての説明を行うこととしております。

記

魚の旨味と売上を上げるための血抜き・活締め講習会（最終回）

○日 時：令和5年11月23日（木・祝）午前10時～午後1時

○場 所：山口県漁協はぎ統括支店 2階会議室・調理実習室（萩市椿東6446番地6）

○内 容：◎第1部：『知識編』（座学）

・これまでの振り返り

・血抜きについて

◎第2部：『実技編』

・参加者が活締めした魚の状態の確認

◎お知らせ：活締め処理取得審査の方法と認定者出荷用ラベルの提供について

○参加者：漁業者・仲買人など約20名（予定）

○外部専門家：東京活魚センター 仕入れ及び仕立て人 わたなべ てるゆき 渡邊 瑛之 氏（プロフィール：別紙記載）

●主 催：萩 市 ●協 力：山口県漁協はぎ統括支店

■血抜き・活締め講習会のこれまでと今後について

- ・これまでに、2回開催（7月11日、9月5日）され、漁業者等30名程度が参加。
- ・講習会では、外部専門家による、鮮度保持の意味や目的の説明、都内飲食店のニーズや萩の魚についてのアンケートの報告、活締めの実演指導などが行われました。
- ・今後は、活締め処理の認定審査を行い、認定された者が活締めした魚を出荷する際に、他の魚と差別化できる、活締め出荷用ラベルを提供します。（認定式は2月上旬予定）

■魚の旨味と売上を上げるための血抜き・活締め講習会

外部専門家プロフィール

わたなべ てるゆき

渡邊 瑛之 氏（東京活魚センター 仕入れ及び仕立て人）

千葉県の高校を卒業後、法政大学にて福祉と心理を専攻。学習塾を開業し、成功させた後、高校時代の先輩からの縁もあり、自分が好きな魚を扱う仕事をしたいと水産の世界へ。

現在は、魚の仕入れから津本式の血抜きを毎日行い、日本料理の師範やミシュランシェフ、ならびに鮮魚店から絶大なる信頼を勝ち得ることに成功したほか、料理人の方々への研修なども行っている。また、最近は公益社団法人日本料理研究会に所属し、更なる研究を重ねている。



記者発表（配付）資料

令和5年11月20日

所属部課	事務局長	課長	主幹	担当	連絡先
萩市教育委員会 学校教育課	植村 正	池田 雄治	磯村 亜由美	池田奈邦子	0838-25-3558

件名	全国大会出場者激励会について
----	----------------

令和5年12月 9～10 日に開催の全国中学校総合文化祭の出場者の激励会を開催しますので、お知らせします。

1 激励会の開催について

- 日時 令和5年11月24日（金） 午後4時30分～5時
場所 萩市役所2階 大会議室
出席予定者 萩市長、教育長、事務局長、下記大会の出場者・引率教員等
激励会次第
○出場者紹介
○出場者抱負
○激励のことば（市長）
○目録贈呈（市長）
○代表者お礼のことば
○写真撮影

2 全国大会出場者について

○第23回全国中学校総合文化祭沖縄大会

- 大会期日 令和5年12月9日（土）～10日（日）
- 会場 「アイム・ユニバースてだこホール」（沖縄県浦添市）
- 出場者

萩市立むつみ中学校（6名）

3年 勝本 縁（かつもと ゆかり） 3年 末成 初美（すえなり はつみ）
3年 末成ゆき子（すえなり ゆきこ） 3年 手嶋 楓（てしま かえで）
1年 梅地 開斗（うめじ かいと） 1年 重西 陽菜（おもにし ひな）

むつみ神楽保存会（4名）

代表 倉増 忠吉（くらまし ただよし）

【出場理由について】

むつみ中学校の「総合的な学習の時間」の中の活動班の一つである「伝統継承班」が、むつみ神楽保存会の方々の協力を得ながら、「むつみ神楽」に継続的に取り組んでいる。この度、山口県中学校文化連盟の推薦により、第19回総合文化祭萩大会（11月4・5日）に続き、第23回全国中学校総合文化祭沖縄大会に出場することとなった。

第23回全国中学校総合文化祭沖縄大会 開催要項

(兼 第29回沖縄県中学校総合文化祭)

- 趣旨** 全国の中学生に、文化芸術活動の場を提供することで、豊かな情操を育み、未来へ繋がる創造力を高める。また、個性豊かな表現活動を通じて、芸術文化研究活動の充実・発展を図る。各都道府県担当教師の交流を図り、それぞれの分野において、指導力を高める研修の場とするとともに、生徒相互の交流・親睦を図り、さらに意欲を持って追究する意思を育てることで、中学校における文化芸術活動の振興に資する。
- 主催** 全国中学校文化連盟 沖縄県中学校文化連盟
- 共催** 沖縄県教育委員会 浦添市教育委員会
沖縄県中学校長会 沖縄県特別支援学校長会 一般社団法人沖縄県PTA連合会
- 後援** 文化庁 全日本中学校長会 沖縄県市町村教育委員会連合会
(公財)日本教育公務員弘済会沖縄支部 沖縄タイムス社 琉球新報社 NHK沖縄放送局
琉球放送株式会社 沖縄テレビ放送株式会社 琉球朝日放送株式会社 株式会社ラジオ沖縄
株式会社エフエム沖縄
- 助成** 日本芸術文化振興基金
- 期日** 令和5年 12月9日(土)～10日(日)
舞台発表 1日目 10:00～16:00 2日目 10:00～15:30
舞台発表(演劇) 1日目 12:00～15:50 2日目 9:45～15:20
展示発表 1日目 9:30～16:00 2日目 9:30～15:30
スケッチコンテスト 1日目 9:00～12:45
※ステージリハーサル 7日(木) 13:00～(県内出演校リハーサル)
8日(金) 9:30～(県外および県内離島出演校リハーサル)
※県外リハーサル(仕込み)の日程については、後日ご案内いたします
生徒交流会 1日目終了後 16:30～18:00

全国中学校文化連盟理事会
日時:令和5年12月8日(金) 17時～ ※常任理事会については調整中
場所:沖縄県教職員共済会館「八汐荘」4階中会議室 ※理事会終了後同会場にてレセプション
※詳細につきましては、別紙をご参照ください。
- 会場** 浦添カルチャーパーク内(〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1丁目9)
舞台発表の部 : アイム・ユニバースてだこホール 大ホール(主会場)
舞台発表の部 : アイム・ユニバースてだこホール 小ホール(演劇会場)
展示発表の部 : アイム・ユニバースてだこホール/市民交流室/浦添市美術館/その他
スケッチコンテストの部 : 会場周辺
生徒交流会 : 浦添市社会福祉センター 3F大研修室
- 開催部門**
 - 舞台発表の部 音楽、合唱、吹奏楽、マーチング、リコーダー、英語(スピーチ、スキット)、国語(少年の主張)、郷土芸能(琉球音楽、琉球舞踊、空手等)、特別支援学校、放送(朗読・アナウンス・映像)、演劇、YPF(先行開催)、その他
 - 展示発表の部 国語(文芸・書道)、社会、数学、科学、美術、技術家庭、特別活動、特別支援学級、特別支援学校、学校茶道、NIE、その他

※ 発表基準

 - ①舞台発表、展示発表共に全国中学校文化連盟加盟の各中学校文化連盟、または各都道府県市中学校教育団体より推薦された優秀作品による、演技・演奏発表及び展示とする。
 - ②全国中学校文化連盟会長が推薦した、優れた演奏・演技発表及び展示とする。
 - スケッチコンテストの部
美術部および美術同好会の生徒を対象に、大会初日に浦添市美術館を拠点に作品制作を行う。
全国中文連会長賞および各賞を授与する。
 - 生徒交流会
日常の活動では出会う機会の少ない、全国の文化活動に関わる生徒を対象に、互いの交流の場を提供します。
- 大会テーマ** ひらけ！新 万国津梁の文化 その鍵は 私たちの手に

記者発表（配付）資料

令和5年11月21日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市商工観光部 商工振興課	村田 卓二	山本 一也	神崎 紘充	(0838) 25-3108

件名	～陶芸のまちならではの迫力を体感～ 陶芸の村公園登り窯 窯焚きの実施について
----	---

陶芸の村公園（椿東上野）の登り窯（平成28年完成）については、窯の更なる利活用・普及のため、萩陶芸家協会の作家の作品と一緒に、「萩焼体験授業」を実施した学校の児童の作品も一緒に焼き上げており、今年度は、佐々並小学校、椿西小学校児童の作品も窯に入れ、焚く予定としています。

見どころとしては、窯焚き終盤、窯の温度が1,200度（昨年度は午前5時～6時頃に到達）に達し、窯上部の吹き出し穴から炎が噴き出すところです。

陶芸のまち、萩ならではの作家たちの活気ある薪入れの様子や、土と炎が織りなす迫力を体感できますので、ぜひ周知及び取材についてお願いします。

■作業行程

○窯詰め（登り窯に作品を入れます。）

日時 令和5年12月8日（金）午前9時～午後3時

12月9日（土）午前9時～正午

場所 陶芸の村公園内（萩市椿東1284-4）

- ・現地にて釉薬を施し、窯詰めを行います。

○窯焚き（登り窯に薪を入れ、作品を焼きます。）

日時 12月11日（月）午前9時 火入れ

～12月12日（火）午前10時30分（予定）

- ・萩焼作家が4～5時間交代、2～3名体制により夜通し作業を行います。
- ・進捗状況によっては終了が早まることがあります。

○窯出し（登り窯から作品を搬出します。）

日時 12月21日（木）午前9時～午前10時30分（予定）

■協力 萩陶芸家協会（会長 田中 文夫）

■参考 平成30年度より実施（令和元年度は中止） 今年度で5回目

【作業の様子等】



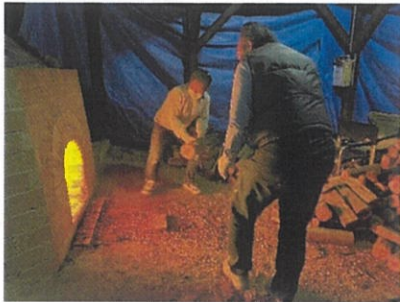
【釉掛け】



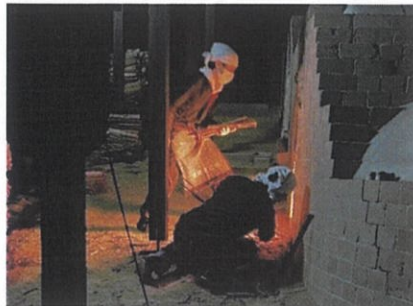
【窯詰め】



【火入れ】



【窯焚き】



【窯焚き】

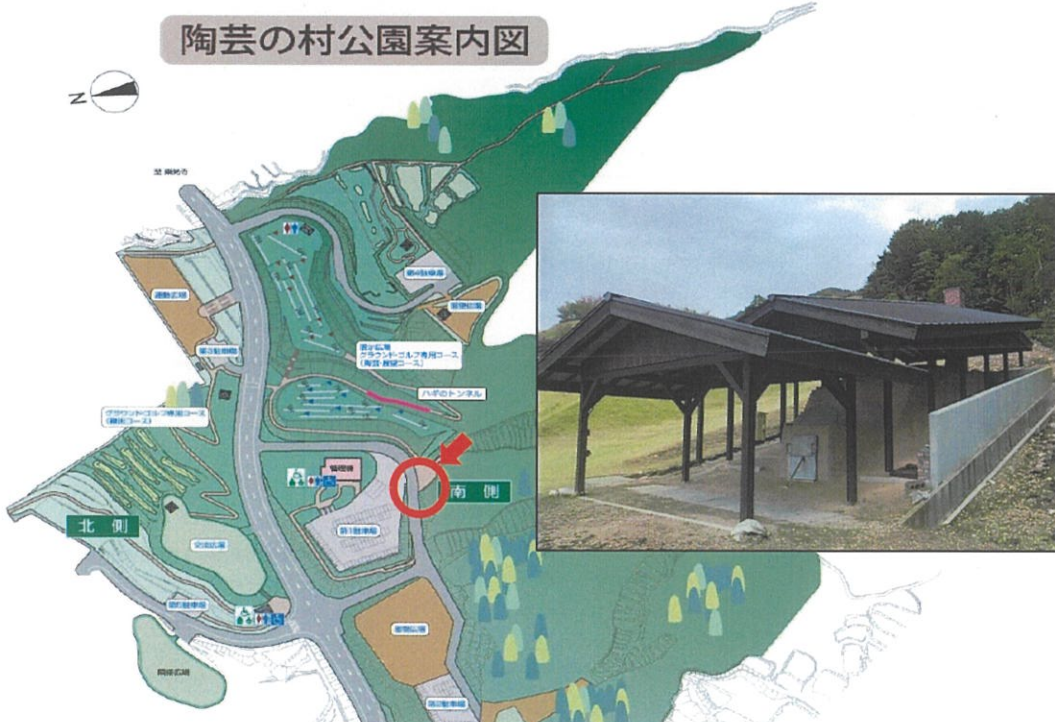


【窯出し】

【陶芸の村公園登り窯概要】

・ 24.5 m² (床面積) 燃焼室 1 部屋、焼成室 2 部屋、捨間 1 部屋

陶芸の村公園案内図



【萩陶芸家協会について】

会員相互の親睦及び陶芸の活性化、後継者の育成、地域文化の向上に寄与すること等を目的として平成5年11月に設立。平成14年(2002)1月、伝統的工艺品産業の振興に関する法律(伝産法)に基づき、萩焼が国の伝統的工艺品に指定され、萩陶芸家協会は萩焼振興を担う中心的団体と位置づけられています。現在、萩市を中心に、長門市や山口市、下関市等で活躍する陶芸家89名が在籍しています。

学校情報 東・西・南・北

ようこそ、わたしたちの学校へ！ホットな情報を紹介します。

発信 令和5年11月22日

学校名	萩市立椿西小学校		
校長名	石田 恭二	担当者	橋 武彦
所在地	萩市大字椿3332番地1		
連絡先等	TEL:0838-25-2686 FAX:0838-25-2695 Email chinzei-e00@edu.city.hagi.lg.jp		

件名	校内持久走大会 【SDGs③すべての人に健康と福祉を】
内容	◎ 中休みの5分間走や体育の時間に加えて、登校後や放課後の自主練習を積み重ねて、子供たちは自己ベスト記録更新目指して、練習してきました。 大会当日は、保護者や地域の皆様の応援もあり、子供たちの最後まで一生懸命走る姿が楽しみです。 【日程】 9:10 4年生スタート(1500m) 9:25 3年生スタート(1500m) 9:45 2年生スタート(800m) 10:10 1年生スタート(800m) 10:20 5年生スタート(1900m) 10:40 6年生スタート(1900m)
日時	令和5年11月30日(木) 午前9時10分～11時10分 悪天候時 12月1日(金)に順延
場所	萩市立椿西小学校 運動場及び敷地周辺
参加者	椿西小学校全校児童 196名、保護者等
その他 (参考事項)	※悪天候時の大会の実施については、学校へお問い合わせください。

記者発表（配付）資料

令和5年11月22日

所属部課	課長	係長	担当	連絡先
萩市商工観光部 文化財保護課	村田卓二	中村達也	中村浩二	0838-25-3299

件名	令和5年度地域文化功労者表彰受賞の上三原の田植ばやし保存会 市長報告会を行います
----	---

文部科学大臣が表彰する「地域文化功労者表彰」を受賞し、令和5年11月16日（木）京都府民ホール アルティで行われた表彰式に出席した上三原の田植ばやし保存会（会長 村岡一志）が、萩市長への受賞報告会を下記日程で行いますので、お知らせします。

記

- 日時： 令和5年11月28日（火） 午後4時45分～5時15分
- 場所： 萩市役所2階 市長応接室
- 報告者： 上三原の田植ばやし保存会 会長 村岡一志



写真1 上三原の田植ばやし保存会



写真2 表彰式の様子



写真3 村岡一志会長

【上三原の田植ばやしと保存会について】

上三原の田植ばやし保存会が伝承する田植ばやしは、関ヶ原合戦後、毛利氏に従って元石見国益田の領主だった益田氏が須佐に移封された折に同行し、移住した農民が伝えたものといわれています。この踊りは、農民が田植えを行う際に、豊作を祈願したもので、秋の祭礼にはその初穂を氏神様に供えるという地域の伝統を今に受け継ぐものです。途中、時代の変化により一時期中断されましたが、明治時代後期に氏神様の神穀田の植付けの時の芸能として復活しました。

稲の手植えが見られなくなった今日ですが、400年という長きにわたり、踊り伝えられた庶民色豊かで素朴な踊りは大変貴重なもので、昭和51年には山口県無形民俗文化財として指定されました。

保存会は昭和46年に発足し、現在会員は22名。

毎年、地域のイベント等で田植ばやしを披露しています。また、地域の小学生に田植ばやしの実技指導を行い後進の育成にも注力しています。

以上

記者発表（配付）資料

令和5年11月24日

所属部課	局長	課長	係長	担当	連絡先
萩市教育委員会事務局 スポーツ振興課	植村 正	増野 達史	蜷川 大介	藤原 昌隆	0838-25-7311

件名	アスレチックシート（タータンマット）の寄付受納式の開催について
----	---------------------------------

このたび、株式会社水建より、陸上競技トラックと同品質のアスレチックシート（タータンマット）を寄付いただくこととなりました。

つきましては、下記のとおり寄付受納式を行いますので、お知らせします。

記

- 日時 令和5年11月27日（月） 午後5時～午後5時30分
- ところ 萩市役所2階 市長応接室
- 出席者 株式会社水建 代表取締役社長 水津 陽次 様
田中 文夫 市長
池田 廣司 教育長
- 品名 アスレチックシート（タータンマット）約100m
※寄付額約130万円相当
- 設置場所 萩ウェルネスパーク スポーツ広場（以下の写真のとおり設置します）

【寄付の経緯】 萩市にはタータンの設置がなく、市民からタータンの設置を希望する声を聞いたため、良い環境で陸上競技に取り組む場の提供を行い、萩市の陸上競技の競技力を向上してほしいという思いから。

